

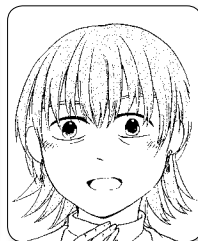
京都府

自分 認知症

らく、
とく、



主な登場人物



山田美智江……(主人公)
57歳で若年性認知症と診断される。
趣味は着物の着付け。



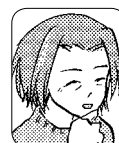
山田秀仁……(主人公の夫)
会社勤め。趣味はスポーツ全般。



河原一郎……(主人公の主治医)
認知症疾患医療センターに勤務する医師。



宮川友樹……(主人公の友人)
62歳で若年性認知症と診断される。
趣味はテニス。



宮川愛子……(主人公の友人)
友樹の妻。



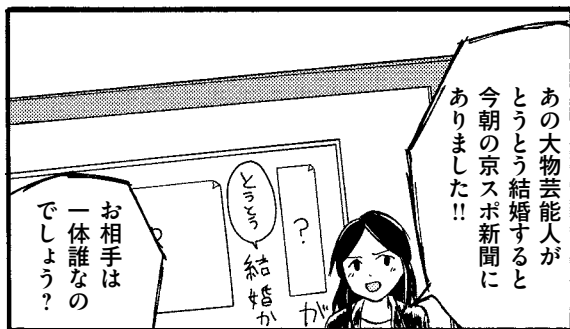
森本洋子……(主人公の友人)
64歳で若年性認知症と診断される。
元音楽教師で、趣味は歌うこと。



二宮佳代……(主人公の友人)
洋子の娘。



綾瀬香織……(認知症カフェ・オレンジカフェの店長)
地域包括支援センターの職員として働く傍ら、ボランティアで認知症カフェの運営を行う。

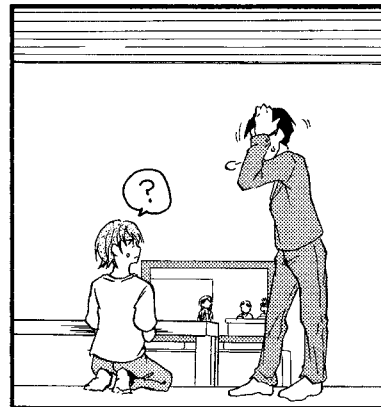
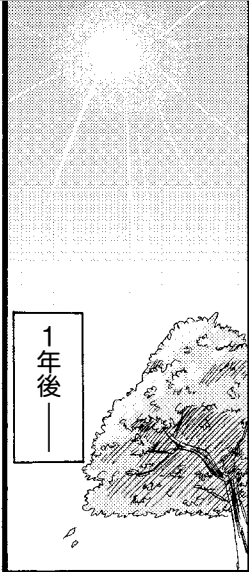


やまだ みちえ
山田美智江 (56)
主婦



やま だ ひでひと
山田秀仁 (57)
美智江の夫







後日

先日
検査を
したところ…

美智江さんは
今まで
できたことが
苦手になっている
部分と

これまでどおりの
能力を維持している
部分との差が
大きくなっている
ことがわかりました

…と
いいますと？

初期の
『アルツハイマー型認知症』
の可能性があります

…アルツハイマー型
認知症…

妻はまだ
57歳ですよ!?

認知症は
早いのでは…

えっ
でも

…山田さん

老化による
もの忘れは

体験した
一部を
忘れたり
するんです

単なる
もの忘れが
ひどくなっている
だけでは？

体験したこと
自体は
おぼえていて

ヒントが
あれば
思い出しますが…

認知症には、アルツハイマー型以外に、脳血管性や前頭側頭型、レビー小体型など
様々な種類があり、それぞれ症状や対応が異なります。

認知症疾患医療センター ※2
京都府病院

認知症疾患医療センター

この1年くらい
もの忘れが
ひどくなっている
気がする

かかりつけ医 ※1の
先生に相談して

一度
もの忘れ外来で
診てもらおうか

物忘れ外来

…妻の状態
なんです

この
1年くらい
もの忘れ
というか…

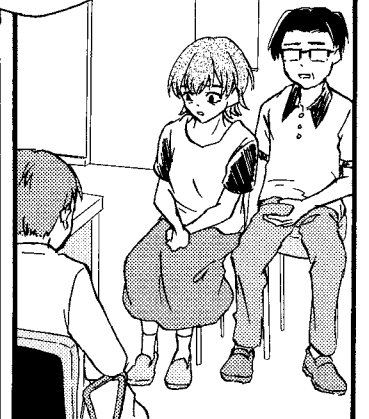
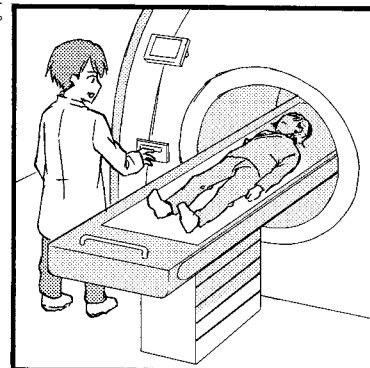
何か
すつぽりと
記憶が
抜けている
感じがして…

たまたまだと
思うんですが…

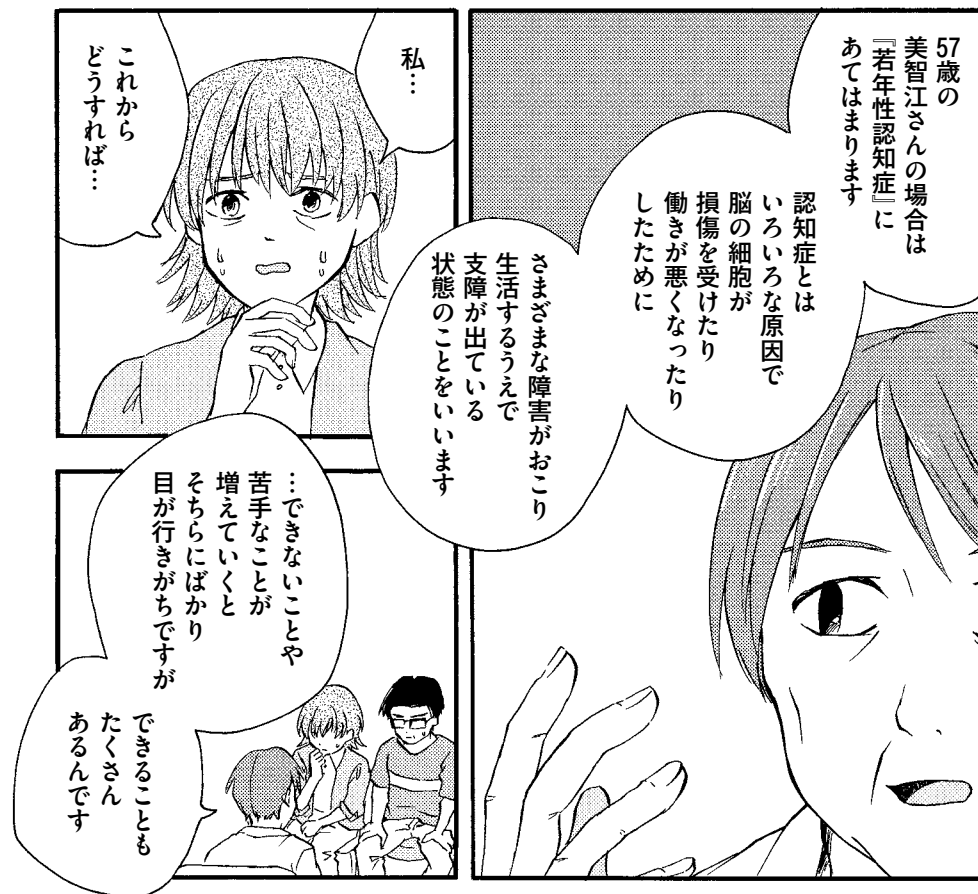
そうでしたか

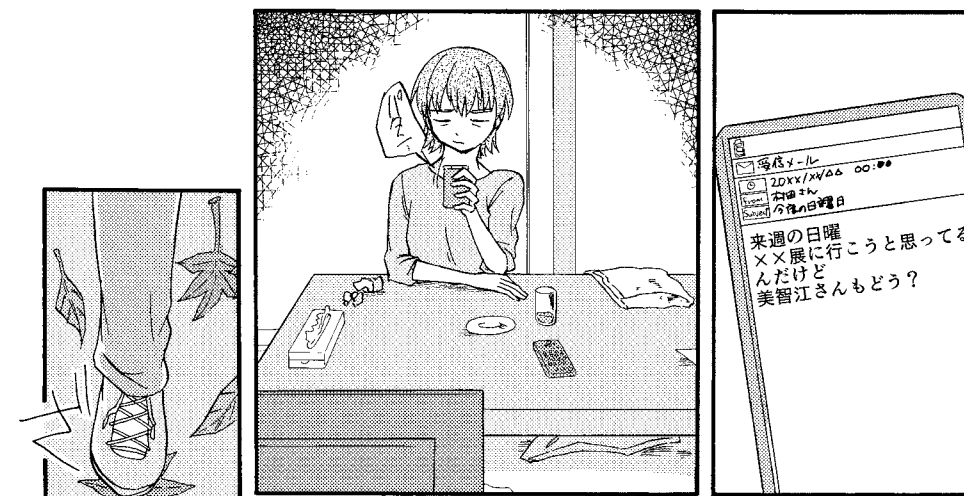
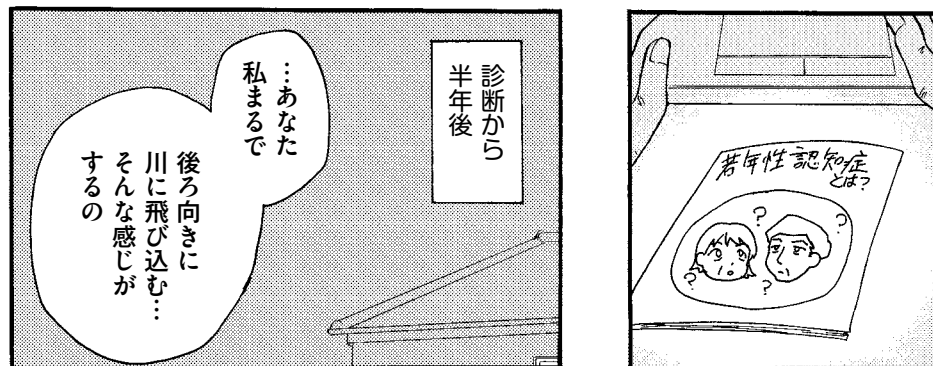
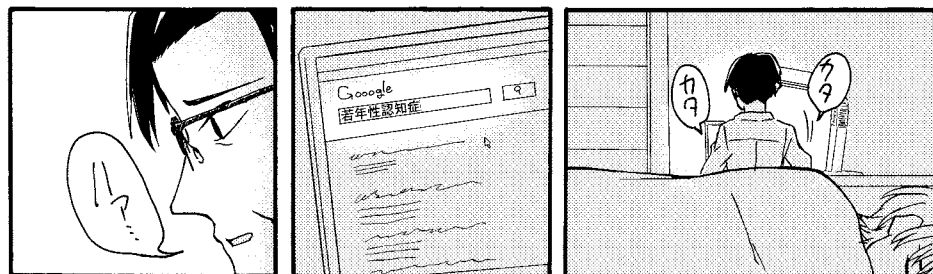
まずは
検査して
みましょうね

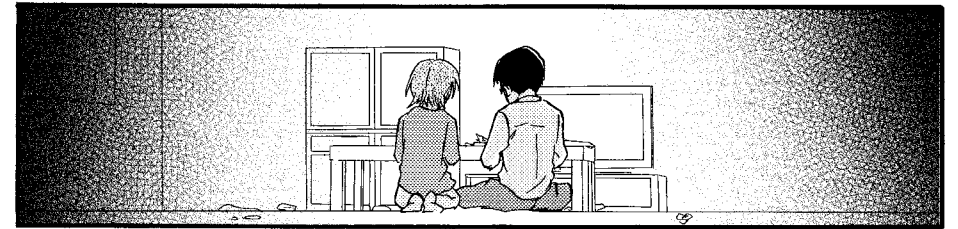
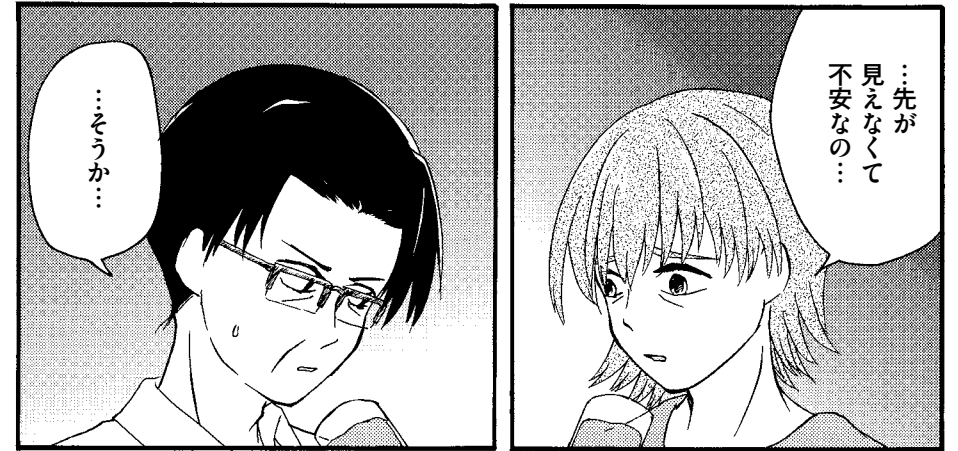
かわはらいちろう
河原一郎
医師

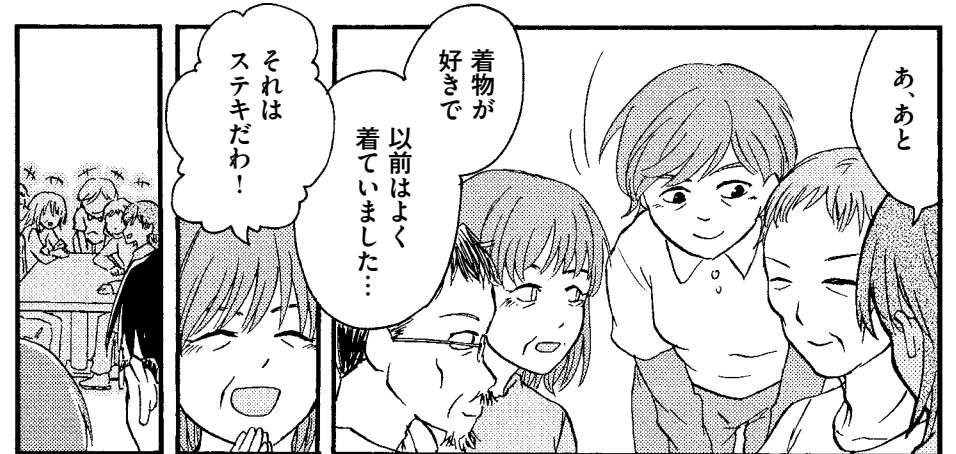


※1「かかりつけ医」：日常的な診療や健康管理などに加えて、幅広い相談への対応などを担う身近で頼りになる地域の医師のことです。
※2「認知症疾患医療センター」：28、29ページをご確認ください。





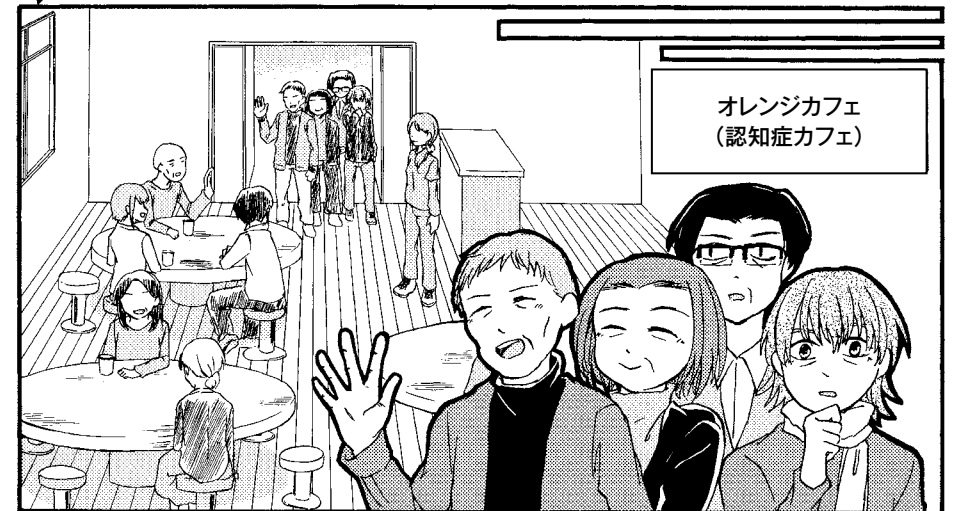


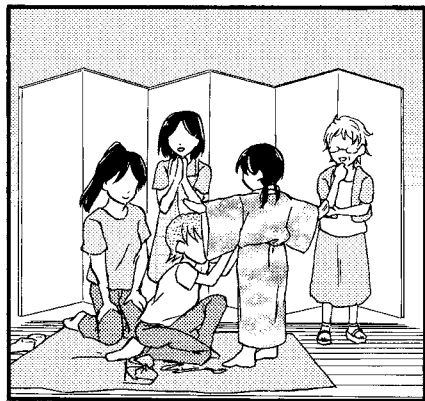
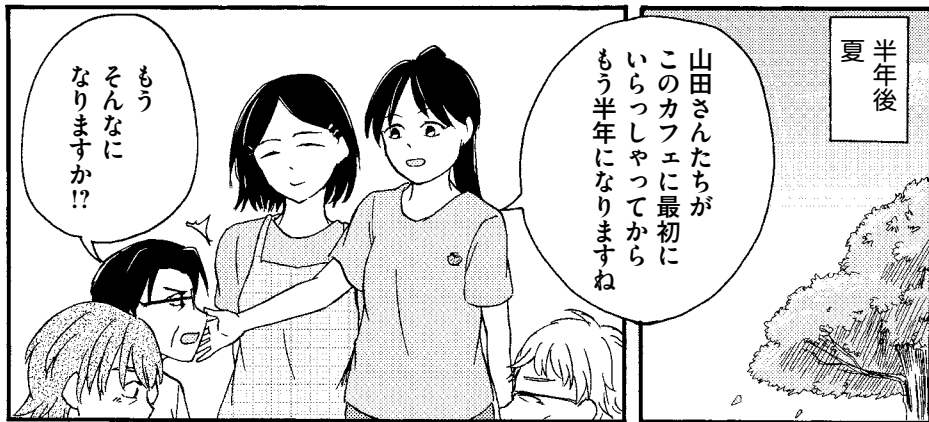


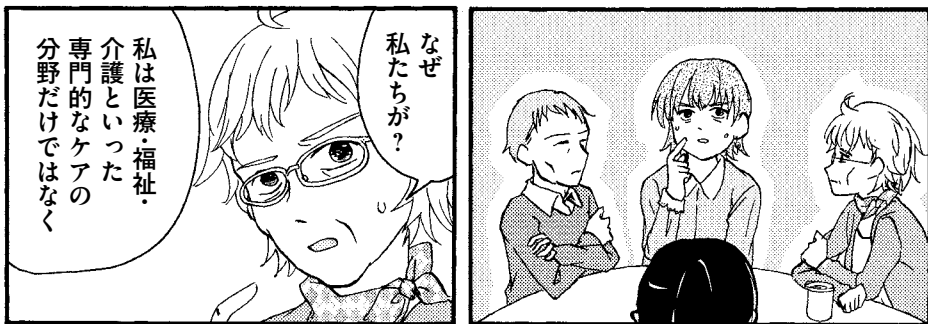
※3 認知症初期集中支援チーム：28、29ページを「確認ください」。

※4 京都府認知症リンクワーカー：28、29ページを「確認ください」。

※5 「認知症カフェ」：28、29ページを「確認ください」。







そうだなあ
私は認知症だから
何もできないと
決めつけないで
ほしいと思ったな

手助けはほしいけど
あわれみはほしくない
何をしてほしいかは
本人に聞いてほしい
自分たちにも
できることはある…
確かにそんな想いを
自分たちで発信しても
いいかもしれないあ

そうですね！

認知症に
なっても
元気で楽しく
生活している
ことを

同じ病気の
人たちにも
伝えたいわあ

私も

病院はもちろん
家族の会や
認知症カフェに
参加したことで

『みなさん』という
仲間にも恵まれて
今は新しい人生を
夫婦で
楽しんでいきます

こういったことを
もっと多くの人に
知ってもらいたい…！

そうなんです！

そういったことを
当事者の方から
発信してもらえれば

これからの
『認知症の人に
やさしいまちづくり』
にも活かせると思
うんです！

ぜひよろしく
お願いします！

はい！

シンポジウム
当日

本日はみなさま
お集まりいただき
ありがとうございます
ございます

宮川友樹と
います

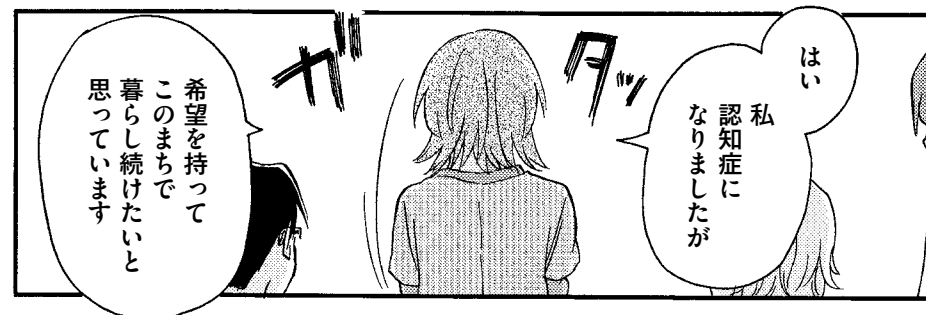
森本洋子です

山田美智江です
今日は私たちが
認知症と診断
されてからの
『歩み』

私たちは
『旅』と
呼んでいます
がそれを
聞いて
ください！



認知症になっても安心して暮らせる社会の実現へ向けて
—— 認知症：ともに新しい時代へ ——



京都では、京都認知症総合対策推進計画(京都式オレンジプラン)に基づき、認知症の人の視点にたった支援を進めています。

目指す姿

認知症とともに歩む

本人の意思が尊重され、

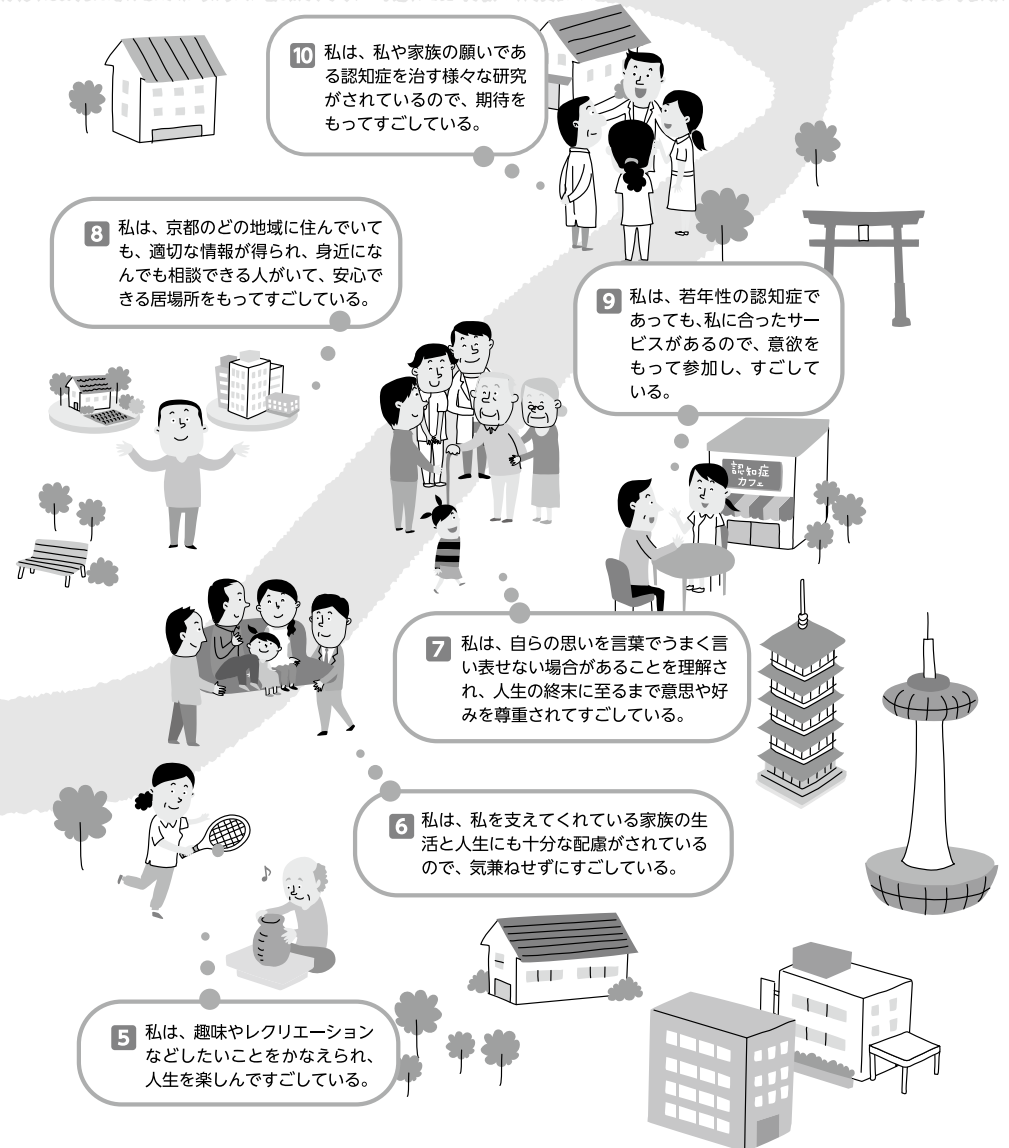
住み慣れた地域で暮らし続けられる社会

認知症の人とその家族が望む

10のアイメッセージ

京都式オレンジプラン

かなえるオレンジロード

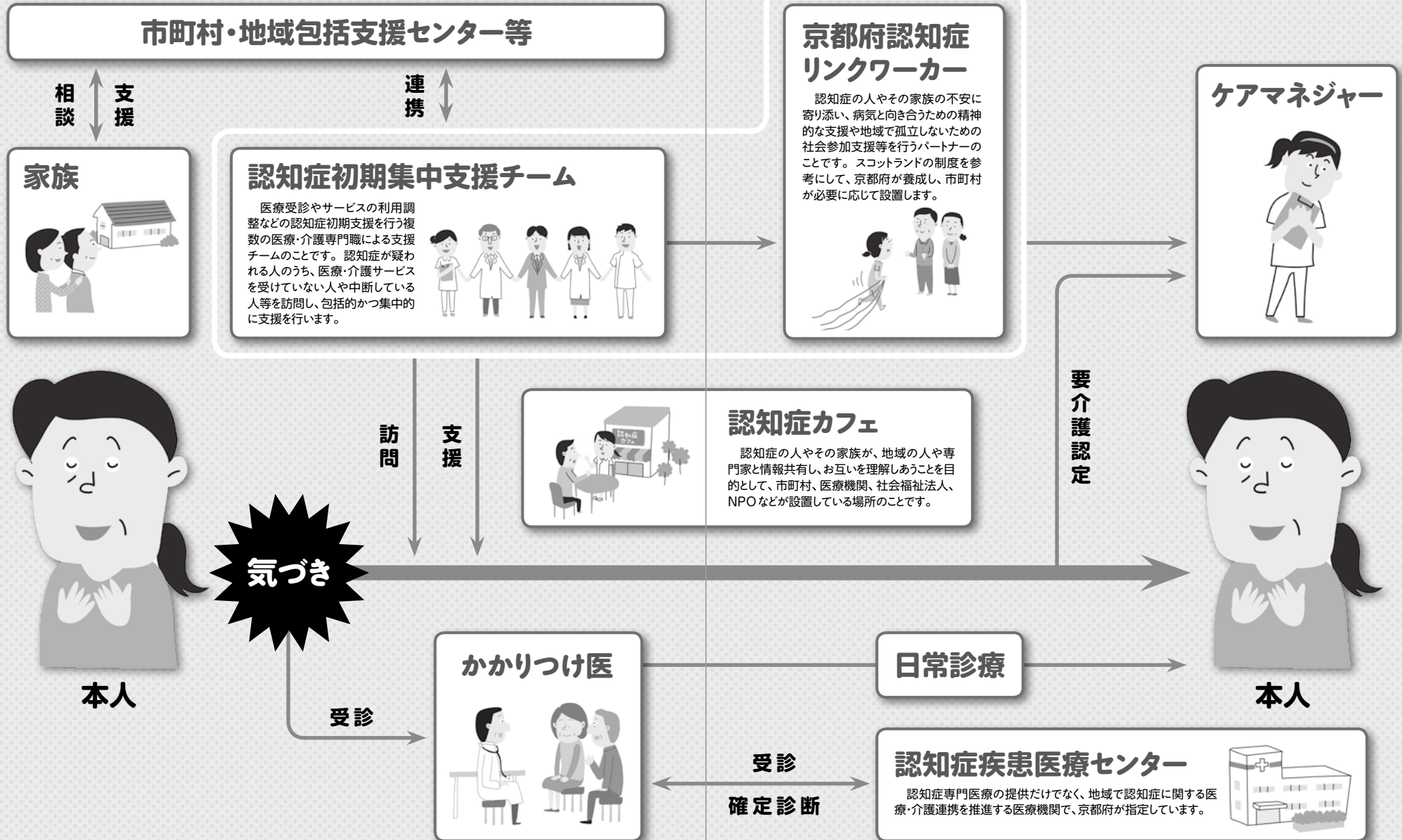


このマンガでは、京都の目指すべき社会とそこで生きる認知症の人やその家族の姿をすべての府民が、認知症になっても安心して住み慣れた地域で暮らし

描きました。今の京都はこのマンガで描かれた社会になっていないかもしれませんが、続けることができると実感できるよう、今後も取り組みを進めていきます。

京都における初期認知症の人への支援体制について

● 早期発見 ● 早期診断 ● 早期対応 ●



認知症 自分らしく

自分らしく、認知症とともに

平成 29 年 3 月 第 1 版第 1 刷発行

発行……………京都府

企画・制作……………京都府、京都地域包括ケア推進機構

企画協力……………伊藤俊彦さん、伊藤元子さん、杉野文篤さん、杉野由美子さん、中西栄子さん、河合雅美さん、森俊夫さん
認知症の人と家族の会

マンガ作画……………太田千晶

編集……………京都精華大学 事業推進室

※この冊子は京都府と京都精華大学との包括協定をもとに制作しました。

※本冊子についての感想やお問合せは京都府高齢者支援課地域包括ケア推進担当 (E-mail : koreishien@pref.kyoto.lg.jp) まで

認知症に関する情報が盛りだくさんです。ぜひご覧ください。

きょうと認知症あんしんナビ <http://www.kyoto-ninchisho.org/>